

# 東海東京財団ニュース

2020年8月25日

各位

一般財団法人 東海東京財団  
愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1

## 一般財団法人 東海東京財団 2020年度「祭礼行事伝承助成」助成対象先を決定

一般財団法人 東海東京財団（2016年8月設立、理事長 石田建昭）は、地域の将来を担う人材やグローバルに活躍できる人材の育成、また、地域社会において、国際経済や社会への理解を促す機会の創出、文化・芸術振興などを通じて、地域社会の将来の発展に寄与することを目的といたしております。

愛知県内各地の祭礼行事が、末永く保存・伝承され、発展していくことを願い、2020年3～5月にかけて「祭礼行事伝承助成」の公募を行ないました。合計9件のご応募があり、厳正なる選考の結果、4件の助成対象先（別紙参照）を決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。

なお、本助成事業は4年目であり、累計32件、13,866千円の実績となります。

## 2020 年度「祭礼行事伝承助成」について

### 1. 実施背景

2016 年 11 月、全国で 33 件の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。そのうち、愛知県には全国最多の 5 件が所在しております。登録により文化的価値が改めて広く認識されるとともに、地元の活性化、伝統文化全体への波及効果なども期待されます。

こうした「山・鉾・屋台行事」に限らず、地域社会に伝わる各種の祭礼行事が県内各地に存在しておりますが、一方で、こうした行事を保存・伝承していくうえでの若い後継者の不足が懸念されているほか、その保存・伝承を継続していくうえでの経済的な支援が求められている状況です。

### 2. 公募方法および申込期間

公募方法：各自治体の教育委員会等を推薦窓口とし、愛知県教育委員会に書類提出。

申込期間：2020 年 3 月 16 日（月）～5 月 22 日（金）

### 3. 助成対象

愛知県内に存在する伝統的な祭礼行事および民俗芸能等の保存・伝承、後継者の育成のための活動に努めており、下記の項目に該当する団体に対して支援いたします。助成対象となる経費は「用具購入・修繕費、製作材料費等」のみとします。

- (1) 2021 年 3 月までに、申請した費用の支出を予定していること。
- (2) 団体の負担以外に外部からの資金協力が緊急不可欠であること。
- (3) 市町村教育委員会または市町村文化財保護行政担当部局の推薦がある団体であること。但し、推薦枠は各市町村につき 2 件までとします。
- (4) 次に該当するものは、すべて対象外とします。
  - ① 過去に本財団から助成を受けている団体
  - ② 2 件を超えて推薦をした市町村に属する団体
  - ③ 2019 年度、「用具購入・修繕費、製作材料費等」について外部から助成を受けている団体、および 2020 年度に同費用について外部から助成を受けることが決定している団体

#### 4. 助成対象者の決定

本財団の事務局において応募書類等の審査の後、理事会（2020年7月8日）における選考・承認のうえ決定した。

#### 5. 助成決定件数および助成額

- ・2020年度「祭礼行事伝承助成」 助成申込件数、決定件数および助成金額

申込件数	決定件数	助成金額
9件	4件	1, 139千円

※助成決定先、助成金額内訳は別紙をご参照ください。

#### 6. 助成金贈呈式

日 時： 2020年9月8日（火） 15時30分～16時30分

場 所： ミッドランドスクエア オフィス棟8階 東海東京証券プレミアサロン  
(愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1)

以 上

(別紙) 2020年度「祭礼行事伝承助成」助成先一覧

4件 1, 139千円

(敬称略)

番号	団体名 (カナ) 行事名	市町 団体設立	申請内容 概要	助成金額 (千円)
2	<b>大池組</b> (オオイケグミ) 行事名：布土地区春祭り	美浜町 1854年	・篠笛の購入 地区には3組3台の山車があり、山車の中で子供たちがお囃子を奏でながら引き廻しを行い奉納する。お囃子に用いる篠笛は経年劣化が激しく、塩ビ笛で代用している。また、担当人数に対し本数が不足している。	143
2	<b>市場区祭礼部</b> (イチバク サイレイブ) 行事名：武雄神社例祭	武豊町 1968年	・幟 (のぼり) ポールの設置 地区の氏神である武雄神社境内に6輦の山車が引き揃えられるのは知多半島で最多であり、市場区は山車の奉納の他、三番叟披露を行う。神事として幟を立てるが、丸太の柱や基礎に亀裂があり、倒壊の危険性がある。	335
3	<b>富貴区祭礼保存会</b> (フキク サイレイホゾンカイ) 行事名：富貴八幡社例祭、秋葉社例祭	武豊町 1965年	・大鼓、締太鼓、横笛の購入 富貴八幡社例祭では、山車が神社を曳き囃子奉納を行う。八幡社境内では、山車2台が集結し、お囃子、からくり人形、巫女舞の奉納を行う。育成者が増えるも、楽器の経年劣化が激しく修理が困難であり、手製笛の使用も多い。	221
4	<b>上黒川花祭り保存会</b> (カミクロガワ ハナマツリホゾンカイ) 行事名：上黒川花祭り	豊根村 1976年	・「舞庭 (まいど)」のある建物の出入口扉、窓の修繕 笛や太鼓の音色で調子を取り、舞を夜通し神仏に奉納する。花祭りの最中は舞庭のある建物内で薪をくべるが、出入口や窓の建てつけが悪く十分な喚起ができないため、体調を崩す児童もいる。	440

以上